

平成29年度 第2回学校協議会記録

平成29年11月21日

6限 授業見学、15:20～協議

1. 校長挨拶
2. 委員長挨拶
3. 協議項目（司会：委員長）

（1）学校経営計画進捗状況について（校長より）

[本年度の取り組みについて説明]（※9月末時点まで）

I 確かな学力の育成と第一志望の進路実現

①授業改善と生徒の学力・教員の授業力向上について

- ・各授業の開始時に目標の確認と終了時に振り返りを行う。79%の教員が実施。
- ・研究授業・研究協議・互見授業の実施
→例年よりも実施が遅れている。研究授業については2、3学期に実施予定。
- ・授業アンケート結果を各教科・各教員に還元
- ・ベル指導・机上指導の徹底
→ベル指導については概ね問題なし、授業開始時に机上整理ができていない生徒が散見。
- ・観点別評価・アクティブラーニングへの取り組み
→教員各自で意識的に授業に取り入れるなど実践研究を進めている。
7月に大学入試制度改革、学習指導要領改訂に関する教員研修も実施した。

②一人ひとりの学習状況に応じた学習指導の実践

- ・基礎学力の定着
例年：学力生活実態調査 GTZ 入学時B2→3年時C2へ（入学時より学力低下傾向）
→1年生（B2維持）、2年生（各教科の成績ではBランクを維持）…昨年度よりは改善
- ・ICT機器の活用
→使用者50%以上 現在6台がフル活用、機材不足のため活用できない教員も存在
- ・模擬試験・漢字・英語検定の受験者数が昨年度より上昇

③アクティブ専門コースの充実

- ・音楽については2年目、スポーツについては1年目
- ・大学講師を呼ぶなど本格的な取り組みを行っている。
- ・次年度の予定 音楽13名 スポーツ50名（目標40名を達成予定）

④生徒のキャリア意識の向上

- ・第一学年での大学見学会を実施 →進路に関係なく「4年制大学」を知る良い機会に
- ・進路指導室に進路担当の先生が常駐する体制が整った。各階進路コーナーの充実もなされている。

⑤自学自習の習慣の確立と学習と学校行事や部活動の両立

- ・WEB予備校の活用者数の増加（参加者50名以上）

- ・入学当初の学習オリエンテーション実施
→肯定的意見 99%（特に「大変よかった」と回答する生徒が上昇）
- ・図書館の利用率の上昇
→来館人数・貸出数ともに増加。昨年度を上回るペース
- ・完全下校時間の徹底
→19:00 完全下校は守られている。各部で最低週一日ノークラブデーを設定。

Ⅱ 豊かな社会性及びたくましく生きる力の育成

①生徒の自主性の育成

- ・活動内容については昨年度とほぼ同様
→進捗状況も例年同様もしくは例年より向上している。
- ・体育祭の満足度上昇
- ・部活動の加入率も若干上昇

②生徒会活動の充実

③規律ある学校生活

- ・遅刻指導・挨拶指導の徹底、清掃活動についても生徒が積極的に参加
→遅刻者数は昨年よりも減少（1日あたり 4.5人→3.9人へ）

④グローバル人材の育成

- ・海外交流先が見つからず、現在実施できていない

⑤地域連携によりさらなる生徒の育成

- ・地域コミュニティへの参加 →吹奏楽部を中心に活動が広がる

Ⅲ 生徒の力をしっかり伸ばす学校力の向上

①校内組織の見直しと体制づくり

- ・食堂整備、旧給品部の改装が完了

②経験の少ない教員等の育成

- ・香里会の内容の充実。現在、計画どおり 3 回実施済み。

③ICTの有効活用

- ・校内LANの使用が終了 →統合ICTへ1本化

④広報活動の充実

- ・中学生学校見学会の来場者数は上昇 →募集人員は 320 人（8クラス）に減

【質疑応答】（発言者 「委」：協議会委員 「学」：学校側）

委：互見授業の感想シートの提出率が悪いが、未提出の理由はつかんでいるのか。

学：丸一時間通して授業を見学できない場合や仕事による多忙さによる理由か。あくまでも互いの授業を高めていくための方法であって、目的ではないと思われる。今後、

提出してもらうように促していく。

委：仕事による多忙さで一筆かくのも大変なのではないだろうか。

学：感想シートの提出状況は例年より悪いが、互見授業を行っている教員は多く存在している。

委：ICTが不足しているならば、何台くらいあれば足りるのか。

学：6台になって若干緩和している。できる範囲で増やして戴ければありがたいが、なかなか難しい。

委：模試検定受験者昨年度比5%増とは全部合わせて5%という意味か

学：それぞれ（模試・漢字・英語）で5%増という意味である。

学：模試は1・2年とも概算で200名くらいが受験した。

委：新入生学習オリエンテーションの肯定回答99%はどういうことか。

学：勉学と部活動の両立や勉強の仕方について入学当初不安に感じている生徒が多く、そのような生徒のニーズに合わせて実施するため、生徒にとってタイムリーで好評価を得ていると思われる。

委：働き方改革に伴う香里丘の取り組みは何かあるか

学：対教員（一斉退勤日の設定）、対生徒（部活動ごとに終了時刻の設定。7時には校門を出るように徹底）などを実施している。

委：京都堀川高校での取り組みを紹介。一斉退勤日・ノー残業デー、ノー部活デーなどの呼称だと、否定的に捉えられかねないのでネーミングを変えるという取り組みもあるようだ。

委：地域コミュニティへの参加を通じて、子どもたちが喜んでいるのか。重たい楽器を運んだり、ブルーシートの上での演奏など、環境がよくないので気の毒にも思えた。

学：生徒は喜んでいた。

委：8クラス募集はもう決まったことなのか。

学：府立学校については府教委が決定し一斉に公表している。

委：eポートフォリオの導入について。香里丘では導入予定があるのか。

学：案内は来ている。eポートフォリオは、資格取得など在学中に行った取り組みを生徒がスマホなどで書き込んでいき、教員もそれを把握することで調査書や推薦書の作成に活用するというものである。府教委等からの指示はまだ来ていないし、制度的に導入へ向けた動きはまだないので、静観している。

委：学校経営計画の資料の様式が以前に比べて見やすくなったが、これをまた以前の形に戻すのか。

学：本日お示ししている様式は、進捗状況説明のために校長が独自に変更した。最終的に府教委に提出する際は定型のフォーマットで送付しないといけないため、戻させていただきます。

(2) アクティブ専門コースの状況について

①音楽コース選択者による演奏披露

②スポーツコースについて説明

- ・コース選択者数、専攻クラブ、活動時間、活動内容について説明
- ・学期に1度、外部講師を招いて講義。来年度の取り組みについても現在調整中。
講義内容：1学期→スポーツ栄養に関する講義 2学期→メンタル面に関する講義
- ・来年度→2・3年生合同の授業が初展開

(3) 学力向上への取り組みについて

学：プロジェクト委員会の中から学力向上プロジェクトを組織。学力向上に向けた話し合いを実施した。

[学力向上プロジェクトについての説明]

- 1 本校の立ち位置を確認
- 2 学力向上・進学実績アップに対する期待・要求
学力向上のための内的・外的要素が少ない → 教員自ら動機や使命感を持つ必要
- 3 本校生の強みと弱み
- 4 近年の新たな取り組み
- 5 目標達成に向けて本校生を導くルート
- 6 目標達成に向けた具体策
11/17 全教員で目標達成に向けた具体策について、グループ別討議を実施
- 7 プロジェクト委員会以外でも検討いただきたい事項

【意見・感想】

委：生徒のやる気の後押しをしてくれる環境づくりが重要ではないだろうか。

委：真の学力をつけるのは確かに難しいが、対策を考えていってほしい。

(4) 来年度使用予定教科書について

- ・使用予定教科書一覧（すべて文部科学省検定済み）を提示し了解を得た。

(5) 本日の授業見学をふまえてのご意見等

委：授業中の声が出ている先生の方がよい。生徒の興味を引く教員が増えればよい。

委：授業の目当てをもう少しはっきりさせる工夫をしてもよいか。

委：見学させていただいた授業は手を挙げる生徒が多かった。さまざま教育方法を違う教員が見る互見授業は有効だと思うので、勧めていただきたい。

4. 校長謝辞